



農村生活体験事業

～今川さん(札幌市)と畠さん(岡山県)が来町～

ようこそ和寒町へ！
平成2年にスタートした「農村生活体験事業」は、これまで26都道府県から96名の方が参加されています。

お二人は、10月末までの5ヶ月間、農村体験研修施設「ふれ愛の里」で生活をしながら、町内6戸の受け入れ農家で農業実習をおこない、町内の各種イベントに参加し、和寒町のさまざまな魅力を体験する予定です。

町民の皆さん、5ヶ月間どうぞよろしく願います。

実習生に 聞きました

Q1 和寒町に来て感じたことや印象はどうですか。

今川さん

車がないと生きていけないというイメージがありました。自転車だけでも不自由ない場所に住まわせていただき、安心しました。大都市暮らしでたまっていた疲れやストレスから解放されました。

畠さん

信号がない!!

Q2 農業にはどのようなイメージがありますか。

今川さん

スーパーで野菜を買うという固定概念を覆すことやお金で買えない豊かさをもたらしってくれたり、収穫だけでも重労働だけど、直売所でお客さんに喜んでもらえることが励みになったりなど様々な課題もあるけど、その分様々な可能性も見出せる気がします。

畠さん

自然との共存、人間のあるべき姿

Q3 農業を体験したいと思ったきっかけは何ですか。

今川さん

昨年度札幌市内で農作業を教わったのですが、市民農園等の立地がやや不便で、札幌市内で続けることは難しいと感じ、以前天塩川体験ツアーで和寒町に立ち寄った際、地方の方々と楽しく過ごせて好印象だったため。

畠さん

福島で稲刈り体験をしたこと。

Q4 農業体験で楽しみにしていること、不安なこと、学んでみたいことは何ですか。

今川さん

○楽しみにしていること

大好物のおカボチャやキャベツの栽培、収穫

○不安なこと

トマト整枝等で切つてはいけない枝葉を切ること、雑草取りに追われて年が終わること。

○学んでみたいこと

野菜のおいしい育て方、食べ方、保存方法、作業が楽になる資材やノウハウ

畠さん

まだまだ未知の世界なので、ぼんやり不安です。

Q5 農業体験のほかに行ってみたいことはありますか。

今川さん

農業をライフワークにする。

衣食住の自給自足。

道北の生活を楽しむ。

畠さん

イベントの参加、もちつき。

今川さん
このたびは、農村生活体験事業に参加させていただき、誠にありがとうございます。

Q6 最後に和寒町民の皆さんにメッセージをどうぞ。

畠さん

出身 岡山県
趣味 旅行、温泉、ライブ参戦、ジム



今川さん

出身 札幌市
趣味 サイクリング



もともと人見知りな激しい上、重度のアレルギーを持つているため、食事等で何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願ひします。

畠さん

農業の経験は全くないのでご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。笑顔で頑張ります!!

受け入れ農家さんから



今回、実習生の受け入れに協力していただいている字菊野 濱田敏史さんは「地元の人が気づかない和寒の魅力、農業の魅力を発見し、多くの人に発信してもらえると嬉しいです。」と話してくれました。

公民館運営審議会兼社会教育委員・スポーツ推進委員

公民館事業及び社会教育の振興と、生涯学習社会の推進のために13名の方が委嘱されました。
[任期 平成28年4月1日～平成30年3月31日]

和寒町のスポーツ振興のため9名の方が委嘱されました。
[任期 平成28年4月1日～平成30年3月31日]

学校教育関係

林 雅裕 新 (小学校長)
安達 啓一 新 (中学校長)

社会教育関係

西村 雄一 新 (文化団体代表)
○合田 鉄雄 新 (体育団体代表)
渡邊道太郎 新 (連合PTA代表)
瓜 るみ子 再 (ボランティア団体代表)
白土真太郎 再 (商工団体代表)
藤村 美穂 新 (商工団体女性部代表)
大場 栄子 新 (福祉団体代表)
鈴木健一郎 再 (子ども会代表)

識見者

◎志村 安治 再 (一般代表)
高岡 純孝 再 (一般代表)
佐藤 香苗 再 (一般・女性代表)

※◎は委員長・○は副委員長 (敬称略)

◎合田 鉄雄 再 渡邊道太郎 再
○岩城 修 再 澁谷あかね 再
鈴木健一郎 再 大野 憲昭 新
中道 真宏 再 亀卦川雅和 新
三好 敦子 再

※◎は委員長、○は副委員長 (敬称略)



■お問い合わせ：教育委員会 TEL 32-2477